

色 は 匂 へ ど
IRO WA NIO E DO



特集 祇園祭礼

平成十四年文月吉祥日発行 卷二十三



陰徳を積むものには陽報が

因果応報

善因善果

悪因悪果

情報が世界を一瞬で駆け抜け
同時に世界中が同じニュースを
見ることができる

速さがさらなる速さを生むスピードの時代

この時代は因果応報

過去の行為の結果も早く出る

昔なら露見しない不祥事も

今は次々と表にも出る

人知れず徳を積むものへの

善き報いも人知れず速く顕れる

特集

祇園祭礼 3



『弘法大師墨蹟聚集』の会報から
益田池碑銘

11



弘法大師の芸術論 十二

精神文化史 研究家 西宮 紘

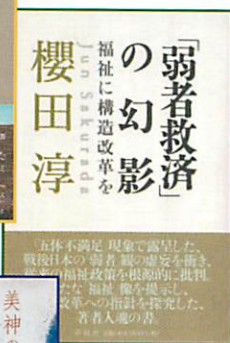
18

お釈迦さまの真理の花束 9



情報コーナー

15



13 現代の道しるべ



祇園祭最大のクライマックスが山鉾巡行。
かつて山鉾は日本の国の数六十六を数えたという。
写真の鉾は放下鉾美しい稚児人形が鉾の上で舞を見せる。
下の図柄は栴尾高山寺華嚴宗祖師絵伝を下絵にした美しい
綴織。

くじあらため



山鉾は前もって順番を決めるくじ取りをする。そのくじの順番に従って山鉾が巡航するが必ずくじあらためといってそのくじを奉行の前でひらき明らかにする。

コンチキチという祭囃子が聞こえると京都は祇園祭一色になります。祭りの期間は一ヶ月。最大のクライマックスは宵山に続く山鉾巡行。しかしその前後の行事も見逃せないものが沢山あります。

スサノオと荒ぶと遊び

祇園祭は八坂神社に祀られる牛頭天王ごずに疫病退散を願う祭りです。そしてこの牛頭天王は素戔嗚命すさのおのみこと（須佐之男命）の本地仏と云われています。

今から一千百年前清和天皇の貞観十一年（八六九）京の都に疫病が流行り、都中に病人死人が溢れたといいます。牛頭天王（素戔嗚命）のたたりなので祇園社（今の八坂神社）をまつり病魔退散を祈願しました。

そのためかつて京が大飢饉のおり弘法大師が祈り雨を降らせた神泉苑に日本の国の数だけの山鉾を送り、御霊会を行ったのがその始めと云われています。

素戔嗚命は荒ぶる荒ぶ神あらし。姉は。あまりの荒ぶる仕業に怒り天照大神が天の岩屋戸に身を隠してしまっただけでした。

素戔嗚命は天上の神々の逆鱗に触れ出雲へ飛ばされヤマトノオロチを退治する話は有名です。この素戔嗚命の子が大国主命で多くの出雲神話が生まれます。



出雲伝説や大国主命の話は別な機会に譲りますが
三輪山の大物主^{おおもものぬし}もじつは大国主命ですから古代出雲
王国と大和朝廷と三輪山は複雑に結びついていま
す。

さて素盞鳴命は荒ぶる神で荒ぶる^{あら}は荒ぶ^{すさ}ことで
す。その「すさび」はと「遊び」とも書くようにな
ります。漢字の達人白川静氏は「遊」という文字は
神が棒につかまり旗を振っている姿が文字になった
と云われます。素盞鳴命が激しく旗を振り荒ぶる姿
はまさにエネルギーに満ちた遊びの原点かもしれま
せん。

その激しい気性の素盞鳴命を慰め満足させる祭り
ですから祭りもスケールが大きくさまざまな変わっ
た工夫を凝らしたものになります。

ちまきは素盞鳴命に一夜の宿を貸した貧しい民に、
素盞鳴命がお礼のしるしとして茅の輪を腰につけさ
せ将来に渡って民の子孫を疫病から守ると約束され
たしるしです。

宵山の日に鉾ごとに異なるちまきが売られます。
厄よけのため家に飾ります。またちまきを買うと鉾
に登ることができます。

風情溢れる宵山。ちまきや護符が子供達によって売られる。「縁結びのお守りはこれより出ます。常は出ません今夜限り・・・」と歌いながら。





稚児と注連縄切り

かつては船鉾以外の鉾にはすべて稚児が乗っていました。今本当の稚児が乗っているのは常に先頭を進む長刀鉾だけです。この鉾に乗る稚児に選ばれるのはとても名誉なことです。七月十三日には騎馬に乗り大勢の共を従えて八坂神社に参り五位少将という位を授かります。十万石の大名に匹敵する位です。

他の鉾には人形で出来た美しい稚児が乗り稚児舞を見せるものもあります。

巡行の出発のとき四条通り麩屋町で長刀鉾の稚児によって注連縄が切られます。

斎竹に張られた注連縄は神域との結界です。斎竹は葉のついたまさに青竹で七月十三日の早朝に建てられます。

「斎竹建て」と呼ばれ古来から伝わる行事で高橋町の人々の奉仕によって行われています。

この注連縄が切られると山鉾はいよいよ八坂神社の神域を巡行します。

疫病退散を祈って始められた祭りが一千年以上続くのはやはりそれだけの大きな御利益があったのでしょう。

祭りの原点を忘れなければ祇園祭は益々盛んになると思います。



青葉繁る東山に位置する八坂神社に向かって山鉾巡行が始まる。
華やかに飾られた山鉾にはペルシャ絨毯有り、からくりのカマキリが
動くものやインド更紗の美しいものとさまざまある。

またかつて函谷鉾（かんこぼこ）には弘法大師筆と伝えられる
金剛界札懺文（こんごうかいらいさんもん）が飾られていた。

お釈迦さまの真理の花束



Not by mere eloquence,nor by beauty of complexion,
does a man become "respectable"-should he be jealous,
selfish, and deceitful.

but in whom these are wholly cut off,uprooted,
and extinct-that wise man who has cast out hatred
is indeed called "respectable".

所謂端正
非色如花
慳嫉虚飾
現行有違
謂能捨惡
根原已斷
慧而無恚
是謂端正



ただ言葉うるわしとて
また容姿美しとて
うちにねたみあり
心におしみ
言葉正しからざれば
彼、美しき人にあらず
ひともし
かかる心の
とがを断ちきり
根絶やしつくし
すでにこの憎しみを
越えたる智者
彼こそは
美しき人といわれん



『大和益田池碑銘并序沙門遍照金』と書かれている冒頭部分

高野山釈迦文院蔵 『益田池碑銘』

大師筆『益田池碑銘』について

高野山釈迦文院 中西 啓寶



『大和州益田池碑銘并序』は、嵯峨天皇の弘仁十三年（八二二）現在の奈良県橿原市畝傍山の南につくられた、農業用の大貯水池が天長二年（八二五）に完成し、その記念碑の文章を弘法大師さまが書かれたもので、その池は清少納言の『枕草子』にも「池は益田」としてのこっていて、その当時は相当有名な池であったことがわかりますが、現在は池も碑も残念ながら残っておりません。ただお大師様の、この碑の原稿が残っているということです。書体は五色の絹二十四枚に篆、隸、行、草の各体に雑体を交えて百五十二行に大書したもので巻末に天長二年の年記があります。終に池という字は普通は右にはねますが、左に大胆にはね

てあり現在にも通じる前衛的なものもあり驚嘆させられます。内容については原文ではとても読解出来ませんが、お大師さまのお弟子さまの真雅僧正さまが、お大師さまの詩文章を集めた『性霊集』の第二巻に全文のつており、良く内容がわかります。嵯峨天皇、橘逸勢と共に、お大師さまの書は、三筆として大変な能書家として知られています。明治時代まではこの碑文は拝見することは、なかなか出来なかったわけで、もし拝見するには七日間の修法をしてでないと拝見できなかったもので、いかに尊く大切にされていたかが良くわかります。お大師さまの書風を知る上で貴重な資料で、後世大師流という書の流派が出来ますが、その源になるものです。

スペシャルオリンピックスの大きな特徴は日常のスポーツトレーニングにある。
地域の中で知的障害者とボランティアがお互いに学び合い理解し合いながら知的障害者の自立を促していく。スポーツの種類は現在日本では、ボウリング・水泳・バスケットボール・陸上・サッカー・卓球・体操・バレーボール・テニス・ゴルフ（夏季競技）、アルペンスキー・フィギュアスケート・スピードスケート（冬季競技）。専門のコーチばかりではなくボランティアも活躍している。

競技会は地区大会、そして全国大会（ナショナルゲーム）さらに世界大会（ワールドゲーム）がある。

そしてこの夏東京でナショナルゲームが開かれる。
アジアからの招待選手（アスリート）を含め総勢5500人を越える。

期間は8月15日から18日まで



特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本

<http://www.specialolympics-nippon.gr.jp>

〒860-0845 熊本市上通町1-24ビアーレビル3F

TEL096-352-4000 FAX096-352-1820

E-mailso-jpn@fa2.so-net.ne.jp

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本
東京事務所

〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関3-6-14 三久ビル6F

TEL03-3501-4680 FAX03-3501-4690

E-mailmailto:tokyo@specialolympics-nippon.gr.jp

21世紀はスポーツとアートとボランティアの世紀

スポーツの語源はインドサンスクリット語にさかのぼる。

開くという意味だ。スポーツを通して心が開かれ多くの交流が生まれる。オリンピックと共にパラリンピックは身体的障害者の国際的なスポーツの祭典として定着している。

そしてもう一つのオリンピックがスペシャルオリンピックスである。スペシャルオリンピックスは知的障害者のためのオリンピックで、スポーツを通して社会参加や自立を目指す。

1963年にケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を開放して開いたデイ・キャンプがスペシャルオリンピックス（SO）の始まりで、現在約160カ国が加盟、125万人のアスリート、100万人を超えるボランティアが活動に参加している。

この春スペシャルオリンピックスを紹介する映画『able』が公開された。ダウン症のゲンと自閉症のジュン。二人の青年がアメリカのごく普通の家庭にホームステイしてスペシャルオリンピックスに参加するドキュメンタリー。

ホストファミリーは若い夫婦で子供はいない。知的障害者と接した経験は全くない。妻キャサリンがこのボランティアに応募した。友人達は不可能だから断ることを勧めたらしい。しかし主人のマークが賛成してくれる。マークはもとアメリカン



フットボールの選手だけあって体格良くスポーツにも理解があって頼もしい。

ホストファミリーにとって先ずコミュニケーションが取れるようになることが一番大事だ。日本語しか理解しない二人とどうやって理解しあうのか。

ジュンは学校へ行き、ゲンは職業訓練所で仕事を学びホテルの仕事を始める。ゲンは高い能力を示す。ジュンのクラスには自らをビッグチャドと呼ぶ生徒がいる。彼は7才ときに交通事故で脳を損傷し複数の障害を抱えている。しかし前向きな性格で心の大きなリーダーを目指し自らをビッグチャドと呼び学校でも人気者だ。彼がジュンの面倒を見る。キャサリンは二人を地元のスペシャルオリンピックスに参加させる。チームプレーのバスケットを選んだ。二人はそれぞれ学校と仕事が終わった後に地元のスペシャルオリンピックスのバスケットチームに参加する。



二人ともバスケットは初めてだ。しかし素晴らしいボランティアのサポートでルールを学び一生懸命練習し試合に出場を果たした。

『インドシナ王国遍歴記』

アンコールワット発見』

アンリ・ムオ著 中公文庫



カンボジアにかつて高い文明を誇った壮大な王国があった。歴史の中で消え去り人々からも忘れ去られていたがフランスの探検家アンリ・ムオが一八六〇年にアンコールワットを発見。世界中にそのニュースが駆けめぐった。

本書はアンコールワットを発見したアンリ・ムオの貴重なインドシナ半島の遍歴の記録。

『「弱者救済」の幻影』

櫻田 淳著 春秋社



マスコミや政治家にとって『人権・弱者・福祉』は絶対にして犯すべからざるものだ。しかし声高に『人権・弱者・福祉』を叫ぶ者に者に限って他人の人権を犯す者が多い。

「障害を持つ人々は『弱者』であり手厚い保護されなければならない」この言葉に政治家が異を唱えればマスコミの袋叩きにあうだろう。

しかしこの言葉がいかに偽善欺瞞に満ちているかは、本当の人権に感性を持つ者なら分かる。

弱者でも自立を希望し社会の中で普通に暮らしたいと思う者にとって「障害を持つ人々は『弱者』であり手厚い保護されなければならない」という言葉が呪縛となって社会へでる権利さえ奪っている。

本書は戦後民主主義の偽善と欺瞞に立ち向かい、救済という言葉の真実の意味を明らかにする。

『現代の道しるべ』で紹介したスペシャルオリンピックスの参加者達が多くの可能性を持つことを知るとあらためて本書が持つ現代的意味の大きさが実感できる。

『アフガニスタンの仏教遺跡』

バーミヤン

前田耕著作

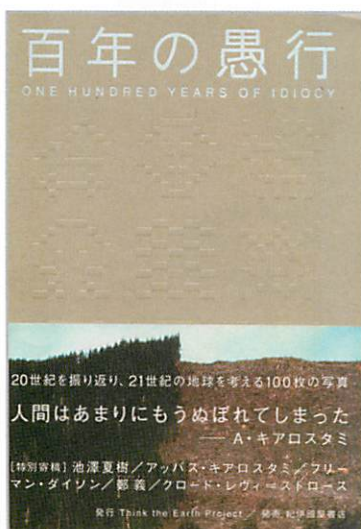
晶文社



今日（五月十三日）の新聞に仏教がイランの西方まで伝わった事を示す遺跡の発見が報じられていた。キリスト教の十戒が仏教の十善戒から生まれたことを考えれば当然だろう。昨年の春アルカイダによって破壊されたバーミヤンの大仏と遺跡群の貴重な資料が刊行された。天井部には曼荼羅を思わせる美しい装飾が施され当時の仏教の隆盛と文化の高さが数多くの写真でよくわかる。

『百年の愚行』

小崎哲哉編集 紀伊国屋書店

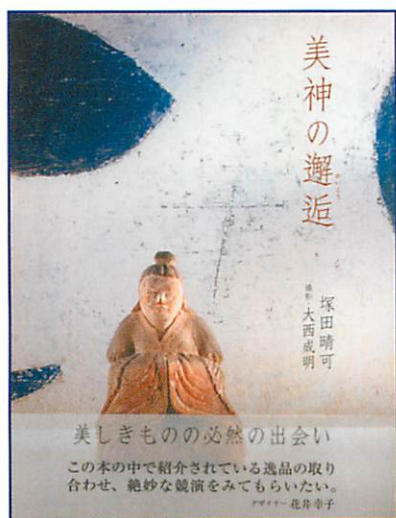


今世紀人類は何人の人を殺し、何人の難民を出してきたのか。ホロコースト。ヴェトナム、カンボジア、アフガン、ソマリア、ユーゴ。そしてテロ。今世紀人類は地球環境をどれくらい破壊したのか。チエルノブイリやスリーマイル島の原発事故。映像は饒舌だ。さらにキアロスタミ、池澤夏樹、ストロース等が特別寄稿。

『美神の邂逅』

塚田晴可著

里文出版



人は美しいものを学び愛しまた創造してきた。さらに日本では、ものとの出会い。見立て。取り合わせなどから、新たな美の世界を生み出してきた。筆者と写真家大西成明氏を合わせたのは婦人画報社。『婦人画報』に連載された『美神の赤い糸』に加筆し新たに生まれた美しき一冊。



弘法大師独自の書表現 飛白（ひはく）体で書かれた十如是 鳥が舞う 神護寺旧蔵

弘法大師の筆

「勝道」碑文で注目すべきは、「心境冥会（しんきょうみょうえ）」及び「花蔵（けぞう）」を心海に観じ、実相を眉山（みせん）に念（おも）うという句である。「境」とは対象とする自然であるが、それはこの場合蓮華蔵世界（花蔵）であり、その実相は須弥山（眉山）であり、そしてそれと「冥会」、すなわち対象たる自然と心が一体化しなければならぬという。しかしそれがどうして可能であろうか。それは静慮（じょうりよ）あるいは禪定の上の独特な修法によるのがお大師様の特徴である。古来仏教の世界観は、九山八海というて、中心を須弥山としたその周囲にめぐる八つの環状の山とその間の七つの海でイメージされていた。一番外側の鉄围山（てつちせん）の内側の海には四つの大洲があり、そのうちの南大洲に我々は棲んでいる。鉄围山の直径は太陽系の冥王星軌道直径の約三分の一強に相当する巨大な世界で、それが千個集まって小千世界、小千世界が千集まって中千世界、中千世界が千個で三千大千世界、しかもこの三千大千世界は大日如来の坐す蓮華千葉のうちの一葉にすぎない。まさに宇宙的多重世界である。この宇宙的多重世界のそれぞれの本質が須弥山世界なのだが、

蓮華の一葉の三千大千世界の一つ一つの世界に須弥山があるという発想は、実に、我々生物の体を構成する一つ一つの細胞にDNAが存在することに対応する。須弥山の頂上のはるか最上部に仏界があり、蓮華座の上の大日如来は多重仏界そのものでもある。この須弥山（仏界も含めて）を象徴しているのが五鈷杵であって、お大師様の肖像では常に右手に持たれている。五鈷杵の中心の剣先が須弥山でありその周囲の四つの剣先が四大洲である。そしてこの五鈷杵を念じて拡大したり縮小したりして最後に一体化されるのがお大師様の中心的修法である。つまり、宇宙そのものを自在に拡大縮小して最後に宇宙と一体となられる。あるいはさらに縮小して胸の内に容えられる。須弥山は我々のDNAに匹敵するものとなる。その意味では、生きとし生けるものの総てに、木の葉の一葉一葉に、さらには無機質の物質の世界にさえ宇宙は無数にあるいは等身大に宿っていると言うことができる。しかも宇宙そのものによって包まれていることになる。別に宇宙を古来の仏教的の世界観に固定する必要はない。我々はお大師様の修法を現代の宇宙に適用して拡大と縮小を通じて一体化できる可能性があることになる。これが「心境冥会」の修法と云えよう。

ところで、対象の拡大と縮小とは、相対的に心の縮小と拡大となる。お大師様は宇宙を呑み込まれることによって超宇宙大となられる。あるいは、対象と等身大のサイズにもなられる。対象より小さくもなられる。こうした修法を充分に積まなければ、対象が自然であれ、王者であれ、庶民であれ、さらには建築であれ絵画であれ、詩であれ、そして書道であれ、それにサイズを合わせ、しかもそれをらくらくと越えていくことが可能となるのである。対象が王羲之であれ草書の名人張芝であれ、いわゆる書自体そのものであれ、それにサイズを合わせ、しかもそれをらくらくと越えていかれたのが、お大師様であったのだ。お大師様の書を学んで学びきれないのは、そこに秘密があったのである。





西新井大師 総持寺

123-0841 東京都足立区西新井 1-15-1
03-3890-2345

次回発行は 9 月 1 日予定

特集 長谷の観音様

Editor ABE RYUJU Art Director and Photographer/SHU FUJIWARA

Editorial Staff/ SAMURO MIWA TOKUMARU KOJI MOTOYAMA KAZUFUMI OOHAMA CHIGUSA SIMAZU RYUTOKU KAWASAKI YUKIKO

HOME PAGE DESIGN MASAOKI OKA HIROYUKI HANAWA Making Mechanic SANMITUSHA+BENRIDO Printing KORINKAKU

EDITORIAL OFFICE MANGANJI SHUGEISHUCHIIN S.H.C

〒158 東京都世田谷区等々力 3-15-1 電話 03-3705-1622 ファクシミリ 03-3703-4979

Shingon Horonic Irowanioedo 第一卷第二十三号 平成十四年文月 一日発行